



大坪GSI株式会社

「社員を大切にしながら
循環型社会の構築を目指す」

今回紹介する企業は、碎石や産業廃棄物の中間処理、リサイクル業などを手掛ける大坪GSI株式会社です。

昭和41年にダンプトラック運送事業を柱にした「大坪商店」

を、3代目となる現在の社長、大坪尚宏さん（50歳）の父、大坪早美さんが創業。その後、山川町（現みやま市）で碎石事業を開始し、株式会社大坪碎石を設立。平成23年に社名を大坪GSI株式会社に変更しました。社名に付く「GSI」の「G」はグリーン、「S」はシルバ、



2



1

1 石膏ボードをリサイクルして農業用の土壌改良材を製造している三橋工場（五拾町） 2 国道208号線沿いにある本社社屋 3 今年7月に3代目社長に就任した大坪尚宏さん 4 廃ガラスを再利用して作った人工軽石（発泡ガラス）。土木資材をはじめ水質浄化材、踏むと大きな音を立てるので防犯砂利としても利用されている



4



3

【企業情報】

- 本社所在地
= 大和町徳益 416
☎ 74・6811
- 資本金
= 3500万円
- 代表取締役
= 大坪尚宏
- 従業員 = 54人

有明海沿岸道路
208
徳益
大坪 GSI

「I」はインダストリー（産業）の略。環境社会と少子高齢化社会において、適切に対応できる会社であり続けたいという思いが込められています。

2代目となる大坪隆治社長は筑後地区でいち早く、工事現場から出される産業廃棄物のリサイクル事業に着手。現在では、市内外にある4つの工場でコンクリートやアスファルトをはじめめととするさまざまな廃棄物の再利用を積極的に進めています。また、廃ガラスから土木資材や水の浄化材として利用できる人工軽石も製造。さらに、建築で使われる石膏ボードを再利用した土壌改良材の開発など、常に顧客の声を聞きながら開発されるリサイクル製品は年を追うごとに増えています。

同社では、65歳で定年後、80歳まで継続勤務できる関連会社を設立し、技術の継承とともに従業員が安心して働ける体制を構築しています。さ

らに、県に「子育て応援宣言企業」として登録し、子育て世代、特に女性にとつて働きやすい職場づくりを目指していることも特徴です。社員や家族を大切にしながら、顧客のニーズに着目し、それを解決するために知恵を絞り、そこにビジネスチャンスを見つけ出していく「創造型事業」に果敢に取り組んでいます。

● **社長のひとこと**

弊社の経営理念は「持続可能な会社を通して従業員の幸福を追求するとともに、百年先から見た今の会社が世のため、人のため、地域のため、どのような貢献ができるかを希求する会社を目指す」です。お世話になってる地域社会や関わる全ての人たちが幸せになれるような会社であり続けるよう、頑張っていきたい。

【問】市商工・ブランド振興課 商工・企業誘致推進係 ☎ 77・8762